



21世紀兵庫長期ビジョン

2040年への協働戦略

〈全県ビジョン・地域ビジョン改訂のポイント〉

兵 庫 県

創造と共生の舞台・兵庫をめざして



兵庫県知事

井 川 敏 三

兵庫も人口減少社会を迎えました。県人口は2010年の559万人をピークに、2040年には約470万人まで減少すると見込まれます。あわせて、少子化、高齢化、人口の偏在が進みます。人口の増加や経済規模の拡大を前提に設計された20世紀型の制度やしきみを、新しい時代にふさわしいものへ転換していくことが急務です。量的な豊かさではなく、「兵庫らしい質的な豊かさ」を求めていく必要があります。今まさに大きな転換期にあると言えるでしょう。

歴史を振り返ると、難局こそが新時代を開く扉でした。私たちの前に立ちはだかる壁を、未来への扉に変えていかなければなりません。

その第一歩は、将来のビジョンを描き、進むべき道を人々が共有することではないでしょうか。

兵庫県は、このたび10年ぶりに21世紀兵庫長期ビジョンの見直しを行いました。県民の皆様とともに描いた2040年にめざすべき兵庫の姿は、「創造と共生の舞台・兵庫」です。そして、県民が主体的に活動し、地域が自立・持続する力を高めていく姿を12の将来像として描くとともに、その実現に向けた協働シナリオを掲げました。地域社会を構成する多様な主体が協働し、「自立と連帯」「安心と活力」「継承と創造」を基本姿勢に、夢を持って、力強く取り組んでいきます。

進取の気性、多彩な人材、個性的な地域、分厚い産業構造、科学技術基盤の集積など、多くの強みをもつ兵庫です。これらを存分に生かすことで、未来を切り拓くことができるはずです。

目標なくして実現なし。新たな価値を生み出し、人の絆と豊かな自然の中で誇りをもって暮らせる兵庫を、力を合わせて築いていこうではありませんか。

平成23年12月

県民主役・地域主導

県民自らが地域の「夢」、ビジョンを描き、その実現に取り組むとともに、地域を構成する多様な主体が連携して地域づくりのリーダーシップを発揮することを期待しています。

「計画」でなく「ビジョン」

行政が実施する事業の量を示すための「計画」ではなく、県民、事業者、団体、NPO、行政などの多様な主体が、目標として共有できる望ましい社会の姿を示す、みんなの「ビジョン」です。

21世紀兵庫 長期ビジョンの 特徴

参画と協働

地域を構成する多様な主体が、知恵と力を出し合いながら、自らの責任のもとに主体的に「参画」し、対等なパートナーシップのもとに、ともに将来に向かって「協働」していきます。

「プロセス重視」

「つくって終わり」ではなく、みんなが実現に向けてできることに取り組み、みんなが進み具合を点検・評価していく「プロセス」を大切にする「成長し続けるビジョン」です。

I 成熟社会を切り拓く「21世紀兵庫長期ビジョン」とその見直し

■21世紀兵庫長期ビジョンとは

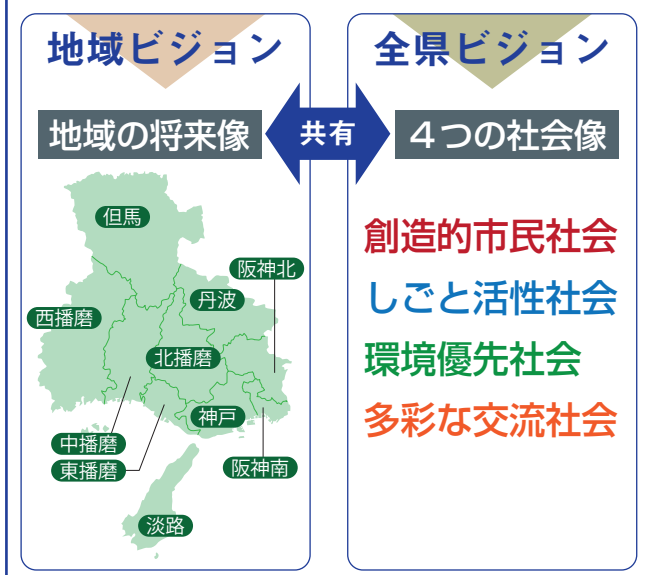
県民主役・地域主導の下で、兵庫がめざすべき社会像とその実現方向を描いた指針として、平成13（2001）年に策定しました。全県的な視点から見た「全県ビジョン」と、地域ごとに住民が将来像を描く「地域ビジョン」で構成しています。

目にある現在、今後の兵庫のめざす姿を共有し、共に歩んでいくことが必要です。

こうした中でビジョンの本格的な見直しに平成21年度から着手し、幅広い世代が参加するフォーラム、地域夢会議などの場を通して、県民の皆さんと共に兵庫の将来像を考えてきました。

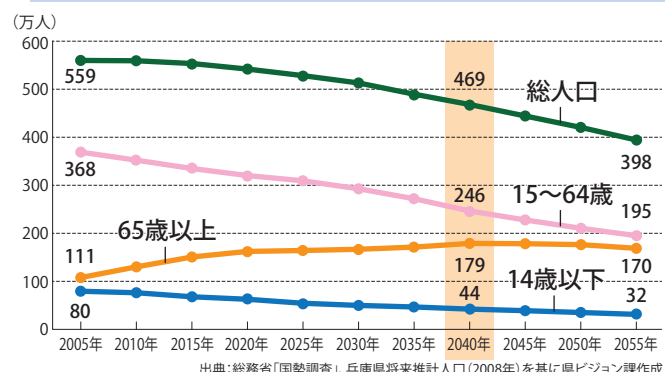
平成23年12月に全県ビジョンの改訂版である「21世紀兵庫長期ビジョン-2040年への協働戦略」を県議会の議決を経て策定しました。また、各地域ビジョンについても、それぞれの地域ビジョン委員会での検討を経て改訂を行いました。

21世紀兵庫長期ビジョンの構成



- 展望年次（将来を考えるため見通しておく時期）
2030年頃→2040年頃
- 想定年次（ビジョン実現に向け取り組む時期）
2010年頃→2020年頃

時代潮流の変化—人口減少と高齢化が進む
〔兵庫県の年齢3区分人口の推移予測〕



■時代潮流の変化の中でのビジョン見直し

人口減少社会の到来とともに、グローバル化、アジアの台頭、地球環境・エネルギー問題など社会や経済が著しく変化しています。時代の大きな変わり



2040年にめざす兵庫の未来像： 創造と共生の舞台・兵庫

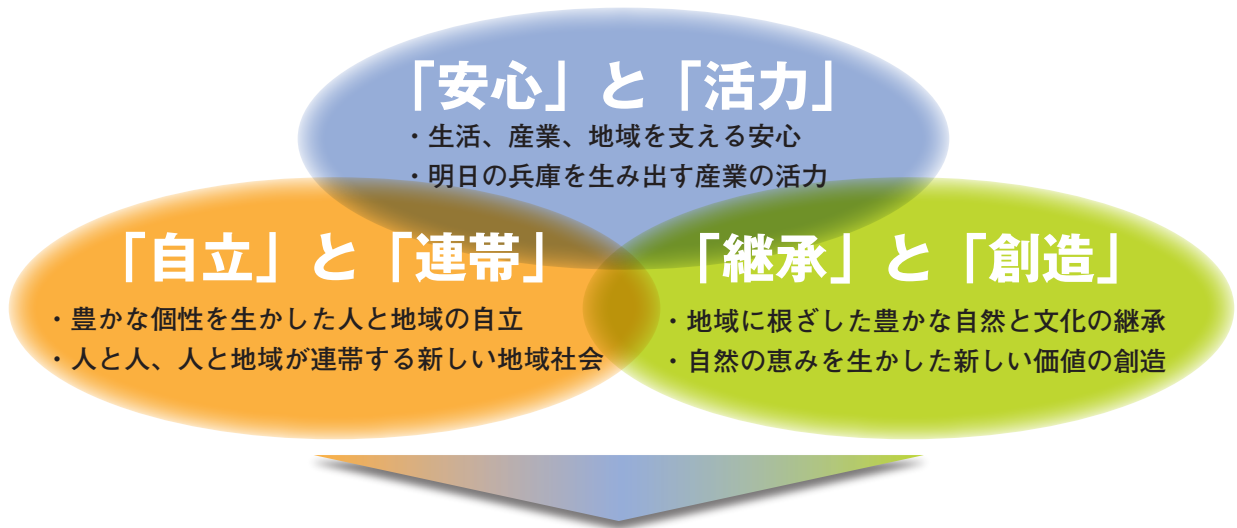
新たな12の将来像

これまで実現をめざしてきた4つの社会像に、これからの時代潮流や県民の皆さんの意見をもとにして、12の新たな将来像をつくりました。（P4～9に将来像の主な内容を示します。）

全県ビジョンで掲げる社会像	今回の見直しで新たに描いた将来像（実現したい兵庫の姿）	見直しのポイント
創造的市民社会 	① 人と人のつながりで自立と安心を育む	人と人のつながりの中で自立と安心が得られる社会づくり、地域・世界の課題に貢献する人づくりで、超高齢社会や人のつながりの希薄化に備える
	② 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する	
	③ 次代を支え挑戦する人を創る	
しごとと活性社会 	④ 未来を拓く産業の力を高める	地域資源の徹底した活用による地域のしごとと創出と成長産業づくりにより、世界規模での構造変化を乗り越える
	⑤ 地域と共に持続する産業を育む	
	⑥ 生きがいにあふれたしごとを創る	
環境優先社会 	⑦ 人と自然が共生する地域を創る	自然の恵みを生かした自給持続力の向上と災害に強い安全安心の地域づくりで、食とエネルギーの自立力を高め、災害を最小限に抑える
	⑧ 低炭素で資源を生かす先進地を創る	
	⑨ 災害に強い安全安心な基盤を整える	
多彩な交流社会 	⑩ 地域の交流・持続を支える基盤を整える	空き空間の活用、狭域から広域までの多様な地域連携など、人口減少を逆手にとって地域をデザインする
	⑪ 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す	
	⑫ 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ	

ビジョン実現のための12の協働シナリオ

ビジョン実現のために2020年頃を想定した取組の方向として、12の将来像に対応させる形で示しています。地域社会を構成する県民、地域団体、企業、行政などさまざまな主体が、「自立と連帯」「安心と活力」「継承と創造」の3つの考え方のもとで、力を合わせ共に取り組んでいきます。(P4~9にシナリオの主な内容を示します。)



さまざまな主体と共に取り組むべき方向性
協働シナリオ

創造的
市民社会

しごと
と活性社会

環境
優先社会

多彩な
交流社会

1 つながりによる家族・地域の再生

P4

2 生涯健康で生き生き活躍できるしくみと場づくり

P4

3 地域と世界で活躍する次代の人づくり

P5



4 国内外と一体で成長を生み出す産業づくり

P5

5 地域を生かし共に持続する産業づくり

P6

6 一人ひとりが持ち味を発揮できるしごとづくり

P6

7 人と自然が共生した持続する地域づくり

P7

8 低炭素・省資源による自立した地域づくり

P7

9 災害に強い安全安心な地域づくり

P8



10 確かな地域経営を支える交流・持続基盤づくり

P8

11 個性を生かし自立する多彩で元気な地域づくり

P9

12 アジア交流圏による世界に開かれた兵庫づくり

P9

将来像① 人と人のつながりで自立と安心を育む

家族の絆で喜びを実感

- 家族で過ごす機会が増え、互いの絆を実感できる
- 地域や職場が連携した安心の子育て環境が整っている

孤立を防ぐ安全安心なコミュニティに

- 住民主体で高齢者などへの見守り活動や日常生活の相互支援が広がっている
- 困った時に相談する人が身近にいて、必要なサポートが受けられる

年齢や性別などを超えたつながりで “地域まるごと家族”が実現

- 空き空間を利用した誰でも気軽に集える場がたくさんある
- 家族のようなつながりを生み出す住まい方が広がっている

誰もが使いやすいモノ、サービスが普及し、生活しやすいまちに

- モノや情報、サービスが多様なニーズに柔軟に対応し、利用者の立場で提供され、不便なく利用できる
- 移動に不便を感じることがない、誰もが生活しやすいまちづくりが進んでいる

協働シナリオ① つながりによる家族・地域の再生

- ◆ 家族で過ごす時間づくり、隣居・近居など、家族がつながる多様な住まい方の拡大
- ◆ 空き空間を活用した子どもの遊び場づくり、親同士のネットワークによる地域ぐるみの子育ての推進
- ◆ 身近なたまり場づくり、助け合って暮らす住まい方による地域での人のつながりの再生
- ◆ 相談機関の連携による自殺防止など、孤立を防ぐセーフティネットづくり



住民によるコミュニティサービス
(地域の高齢者に安心と食を届けるNPO)

さまざまな世帯が助け合う
住まい方
(多世代の入居を促すコレクティブハウジング*)



*コレクティブハウジング 独立した居住スペースのほかに、居間や台所など、共同で使用できるスペースを備えた集合住宅の形態のひとつ。

将来像② 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する

多様なサービスで健康に暮らせる

- 一人ひとりにあった健康づくりの支援システムが整っている
- 病気になったり介護が必要となるときに利用しやすいサービスが身近にある

自然・農や食を楽しむ生活が定着

- 都市部から農山漁村への住み替えや二地域居住が県民に広がっている
- 都市と自然が近い兵庫の特性を生かし、多くの人が気軽に農業や自然を楽しんでいる

歴史・文化・芸術・学びが生活に根づく

- さまざまな世代の人が地域の伝統行事・文化、歴史資源に親しんでいる
- スポーツ活動や生涯学習に気軽に参加できる場や仲間がある

誰もが主体的に地域や社会で活躍

- 個性と能力を生かしたしごとや多様な社会参加の場が生まれている
- 複線型のライフスタイルで、誰もが生涯自分なりの役割を果たしながら充実感を得ている

協働シナリオ② 生涯健康で生き生き活躍できるしくみと場づくり

- ◆ 通所・宿泊・訪問を組み合わせた居宅介護の推進
- ◆ 空き空間を生かしたアトリエ・ギャラリーなど、自主的な芸術活動の場づくり
- ◆ 二地域居住や楽農生活など、農や自然を楽しむライフスタイルの応援
- ◆ 定年の廃止・延長など、知恵や経験を生かして生涯現役で活躍できるしくみづくり



医療、福祉が連携した在宅での安心基盤づくり
(介護をする人同士の交流の場を提供するNPO)

生産年齢人口という概念をなくすための取組
(定年がなく熟練技術者が活躍する企業)



将来像③ 次代を支え挑戦する人を創る

子どもたちが生き生き育ち、遊び、学ぶ

- 地域ぐるみでの子どもを産み、育てやすい環境が整い、子どもたちがしごとや地域について、生き生き学んでいる

グローバルな人材が活躍

- 子どもたちが自然に外国の文化に親しんでいる
- 兵庫発の才能ある芸術家、デザイナーなどが世界で活躍している

体験型・課題解決型の教育が充実

- 命や人の営みの大切さを理解し、生きる力を備えた子どもが育っている
- 地域社会の一員として役割を主体的に果たす次代の地域づくりの担い手が育っている

兵庫発の人づくりが世界に貢献

- 地球規模の課題解決に向けて学び、取り組む人々のネットワークが国境を越えて広がっている
- 国際機関やNPO、行政などの連携によって、兵庫の課題解決のノウハウが世界に広がっている

協働シナリオ③ 地域と世界で活躍する次代の人づくり

- ◆阪神・淡路大震災などから得た「命の大切さ」「支え合いの大切さ」を学ぶしぐみの拡大
- ◆郊外の遊休農地の活用など、自然や農を学ぶ体験型教育の展開
- ◆市民性を高める教育の推進など、次代の地域づくりを支える多様な人材の育成
- ◆多言語・多文化教育の推進など、グローバルな共生力・協調性を身につけた人材の育成



兵庫色のある体験型・課題解決型教育の展開
(小学3年生を対象とした環境体験事業)

グローバルな共生力を持つ人材の育成
(海外留学生や外国人学校との多彩な交流プログラム)



将来像④ 未来を拓く産業の力を高める

国際的な産学・産産の連携が進む

- 兵庫の技術と蓄積を生かし、世界での分業化・一体化と共に成長する技術革新拠点が県内に形成されている

多彩なオンリーワン企業が成長

- 独創的な技術やサービスをもつ「小さな世界企業」が県内各地に根つき、活躍している

国内外の創造的な人材が集い企業などの立地が進む

- 健康、医療、環境、エネルギー、防災など国内外に貢献する成長分野の人材・企業が集積している

相互に補完し合う産業ネットワークの構築が進む

- 西日本・東日本が相互に補完し合うしなやかな産業構造が構築され、安定した産業活動が保たれている

協働シナリオ④ 国内外と一体で成長を生み出す産業づくり

- ◆わが国に続いて高齢化が進むアジアなどのニーズに対応した国際的な連携の強化
- ◆世界や地域の課題解決に貢献する成長産業の集積による技術革新の拠点づくり
- ◆産学連携・産産連携の充実による、オンリーワン技術をもつ企業の成長と海外展開の拡大
- ◆開発・製造拠点の再配置による、災害に強い双眼型・多極型の産業構造の構築



世界の多様なニーズに対応した産業の展開
(技術開発力と運用管理などのシステムのワンパッケージ化)

科学技術基盤を活用した先進地の形成
(活用が進む大型放射光施設SPRING-8、X線自由電子レーザー施設SACLA)



将来像⑤ 地域と共に持続する産業を育む

地域産業の高付加価値化が進み 地域・産業ともに魅力が向上

- 技術力やサービス、デザインを生かし、地場産業のブランド力が向上している
- 歴史や風土、生活文化に息づく地域資源の再評価と活用が進み、地域が活性化している

多彩な地域資源をつなぐ ツーリズムで地域がにぎわう

- 兵庫・関西の多彩な地域資源を「物語」でつなぐツーリズムが発達し、国内外からの誘客が拡大している

力強い産業として農林水産業が再生

- 集落営農や企業参入などで農地利用集積が拡大し、高度な経営基盤が形づくられている
- 高品質で安全安心な県産品のブランド化や6次産業化*が進み、食の自立が実現している

暮らしを豊かにする 新たな生活産業が成長

- 高齢社会のニーズに対応した生活関連サービスが地域の暮らしを支えている
- 空き店舗の活用や地域産業との連携で、地域商業が再生している

協働シナリオ⑤ 地域を生かし共に持続する産業づくり

- ◆ ものづくり技術の高度化、高付加価値化による地域ブランド力の強化
- ◆ 地域固有の資源をつなぐ「物語」づくりでの、広域的なツーリズムの展開
- ◆ 都市と集落、集落と集落の連携など、多彩な地域が共に支え合う農林水産業のしくみづくり
- ◆ 高齢社会のニーズに対応した介護・医療、生活支援など、地域に見合うサービス産業の展開



集落間や、集落と都市とのつながりを生かした農林水産業（地産地消による食の安全確保と商店街の活性化に取り組むファーマーズマーケット）

地域資源の再発見によるなりわいづくり（古民家を活用した農家民宿、レストラン）

*6次産業化 地域の第1次産業（農林水産業）が、これに関連する第2次、第3次産業（加工・販売など）と融合して行う業態展開のこと。

将来像⑥ 生きがいにあふれたしごとを創る

社会貢献型のしごとが拡大

- 社会的起業*やNPOなどがしごとの場として定着している
- 地域課題の解決に貢献し、つながりを結び直す新しいしごとが広がっている

兵庫発の人材が さまざまな分野で国内外に飛躍

- 兵庫発の人材が、グローバル化に対応して国内外で活躍している
- 国内外から創造的な人材が集まり、知の拠点を形づくっている

誰もが生きがいを持って働ける 環境が充実

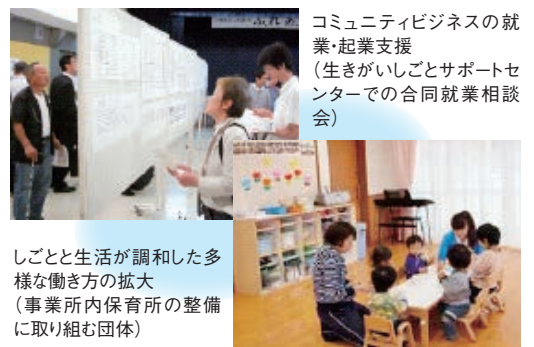
- 年齢、性別、障害の有無、国籍などにかかわらず誰もが働きやすい環境が充実している

しごとと生活が調和した 複線型のライフスタイルが実現

- ライフスタイルに応じて就業・起業、再挑戦、社会貢献、生涯学習などを選択できる社会が実現している

協働シナリオ⑥ 一人ひとりが持ち味を発揮できるしごとづくり

- ◆ 社会起業家の育成とネットワーク化、中間支援のしくみの充実など、社会貢献型のしごとの応援
- ◆ 高度なものづくり・福祉などの分野で国内外の専門的な人材が集積する、アジアの人材育成の拠点づくり
- ◆ 女性や高齢者など、多様な主体の元気を社会に生かし、誰もがやりがいを持って働けるしごと環境づくり
- ◆ しごとと生活のバランス、複線型のキャリア形成を実現できるしくみづくり



コミュニティビジネスの就業・起業支援（生きがいしごとサポートセンターでの合同就業相談会）

しごとと生活が調和した多様な働き方の拡大（事業所内保育所の整備に取り組む団体）

*社会的起業 社会の課題解決を目的に事業を起こすこと。

将来像⑦ 人と自然が共生する地域を創る

上流・下流など地域間の連携で良好な自然環境に

- 都市部の住民、企業などが主体となり、多自然地域での自然環境を管理するしくみが整っている
- 近郊での緑化や山林の維持が、都市の環境を多様なものになっている

生物多様性の確保、動植物との共生が拡大

- 自然からの恩恵を意識した、生物多様性の保全・再生・創造が進んでいる
- 野生動物の適切な保護管理が進み、人と野生動物が共生している

行き届いた管理で森林や農地が再生

- さまざまな担い手が育ち、森林や農地の適切な管理が行われている

自然の恵みを無駄にしない社会構造に

- 地産地消、資源循環など、豊かな自然から得られる資源を地域で有効に活用するしくみが整っている

協働シナリオ⑦ 人と自然が共生した持続する地域づくり

- ◆上流と下流が手を取り合い、森・川・里・海を関連づけて自然環境を管理するしくみづくり
- ◆森林や農地の荒廃を防ぐ適切な管理のしくみ、担い手づくり
- ◆自然からの恩恵の価値を「見える化（認知）」し、環境資源を保全・創造する意識の醸成
- ◆野性動物の計画的な保護、獣害対策による個体数の適切な管理
- ◆農林水産物の地産地消を拡大・定着するしくみづくり



多様な主体による広域での自然環境保全のしくみづくり（地域の森林保全活動に企業が参画）



多様な生物と共生する生態系の維持・保全（コウノトリと共生する環境創造型の農業）

将来像⑧ 低炭素で資源を生かす先進地を創る

地域でのエネルギー自給力が向上

- 空間と資源を有効活用した再生可能エネルギーでの発電が拡大し、自給力が向上している
- 先端技術の革新によって家庭でのエネルギーの「見える化」が広まり、消費の最適化が進んでいる

低炭素な都市構造に転換

- 屋上・壁面、駐車場緑化が進み、ヒートアイランド現象が和らいでいる
- 工場からの排熱などが都市内での創エネ・省エネに有効に活用されている

環境負荷を低減するしくみが浸透

- 住民、企業などが協働して低炭素な社会基盤や取組環境が構築されている

地域で持続的に資源が循環

- モノや資源が再利用されて、新たな価値を生み出し、地域特性に応じたグリーンビジネスが定着している

協働シナリオ⑧ 低炭素・省資源による自立した地域づくり

- ◆実証実験や手作りプロジェクトの展開による、地域発のエネルギーを組み合わせた地域自立型のエネルギー構造の構築
- ◆家庭内発電、エネルギー自立型住宅の普及など、暮らしの中でのグリーンシステムの拡大
- ◆自動車の共同所有の普及や、電気自動車など環境対応車の基盤整備の推進
- ◆リユース・リサイクルなど、地域で持続的に資源を循環させるしくみづくり



住民・企業などが協働して取り組む低炭素な生活基盤の拡大（環境対応車の普及と充電スタンドなど基盤整備）



多様な主体が関わる地域に応じた資源の循環のしくみ（回収廃食用油のバイオ燃料化などに取り組むあわじ菜の花エコプロジェクト）

将来像⑨ 災害に強い安全安心な基盤を整える

自然災害に強い安全安心の基盤が整う

- 地震・津波に備えた防災・減災の社会基盤が整備されている
- 環境保全・創造に取り組みながら、風水害に強い地域づくりが行われている
- いのちを守る、避難対策が十分になされている

共助・公助による地域防災力が向上

- 地域での自主防災組織や災害弱者を守るしくみが、行政と連携して形づくられている
- 防災関係機関が広域的に連携、情報共有体制が整っている

大規模事故や感染症への危機管理能力が向上

- 初動対応、情報共有体系が充実し、迅速で円滑な発生・拡大防止への備えができています
- 大規模事故や災害に際し、社会や経済の活動が継続できる体制が整っている

一人ひとりの防災・減災意識が高まる

- 地域の自然環境や防災・減災を学ぶ場が多様な主体により提供されている
- 誰もが地域の災害危険度を認識し、防災意識が家族や隣近所で共有されている

協働シナリオ⑨ 災害に強い安全安心な地域づくり

- ◆東海・東南海・南海3連動地震の予測など、最新の知見や歴史の教訓を踏まえた災害に強い防災・減災体制づくり
- ◆大規模事故や原子力災害、感染症に備えた応急活動の連携強化や、危機管理、避難・防護対策の整備
- ◆住民・行政などの協働による地域防災力の向上や、関西広域での防災・支援体制の確立
- ◆家族での防災手帳づくり、地域での防災計画づくりなど、自助の意識の促進



地震・津波などへの防災・減災に配慮した社会基盤の整備
(建築物の耐震技術を向上させる実物大の破壊実験)



防災・減災を支える共助・公助の安心体制づくり
(災害時要援護者を地域で支えるマップの作成)

将来像⑩ 地域の交流・持続を支える基盤を整える

コミュニティが地域を主体的・自律的に運営

- 地域の魅力や持続力を高めるため、住民主体での地域活動の企画・運営がなされている

企業と地域との協働の輪が拡大

- 地域づくりをプロデュースする専門人材の育成が進み、企業も地域づくりに参画している

公民連携による多様な地域づくりが進む

- 民間とのパートナーシップのもとで行財政構造改革が進み、持続する兵庫の基盤が整っていく

「新しい公」が地域を支えている

- 「新しい公」*を担う地域団体、NPOなどが地域社会の自立のための重要な役割を果たしている
- 住民出資の「まちづくり会社」が地域を支え、地域内での資金循環のしくみも整っている

交流・物流を支える社会基盤が充実

- 社会基盤や情報通信基盤が人・モノの活発な移動を支え、計画的な修繕・管理で維持されている
- 空き空間や既存施設の使いこなしで交流の場が創られている

協働シナリオ⑩ 確かな地域経営を支える交流・持続基盤づくり

- ◆地域のルールづくり、自主財源の確保、地域づくり団体の協働などによる自立した地域運営の推進
- ◆地域づくり人材の育成、企業の地域づくりへの参画の促進
- ◆住民活動を支援する地域ファンド(基金)のしくみづくり
- ◆国内外との交流・産業を支えるインフラ基盤の整備、適切な維持・修繕による長寿命化
- ◆民間の資金・技術を活用した基盤の整備や公共サービスの運営
- ◆活力ある地域活動や民間活動を下支えする行政の役割発揮



住民主役の自立した地域経営
(NPOを設立し、外部の人材とも協働しながら集落経営のルールづくりに取り組む集落)

広域での交流や暮らし、産業を支える基盤の整備
(県土、地域の動脈をなす幹線道路や鉄道・バス・航空ネットワークなどの整備)



*新しい公 行政、地域、企業、個人など地域社会を構成するさまざまな主体が、地域社会の共同利益のために助け合い、多様な主体の参画と協働による活動領域を広く「公」と捉える概念のこと。

将来像11

個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す

交流・連携で豊かな個性を生かす村に

- まちからむらへの人の流れが増え、外部との交流も生かして集落が活性化している
- 食やエネルギーの自給力が高まり、他地域への供給も進んでいる

生活機能をまちなかに集約した地方都市に

- 生活機能が集約化・拠点化されコンパクトなまちへと変化している
- 住民・行政・企業の合意のもと、空き空間が住民ニーズに応じた形で活用されている

ゆとりとにぎわいの空間をもつニュータウンに

- 若年世代が住み加わり、ゆとりある街に広く居住している
- 職住学が近接し、昼間もまちなかににぎわいがあふれている

多選択・多参画型のまちづくりが進む大都市に

- 多様な住まい方が、多世代交流や地域交流の場を生み出し、安心して暮らせるまちになっている
- 駅前や街路が歩いて生活しやすい公共的な空間になっている

行政区域を越えた地域間の連携で自立的な圏域を形成

- 地域資源が保存・継承、ネットワーク化され、新たな地域の付加価値を生み出している
- 公共交通を軸としてつながる地域構造へと転換している
- さまざまな分野で都市間連携や県境を越えた広域連携が進んでいる

協働シナリオ11 個性を生かし自立する多彩で元気な地域づくり

- ◆ 集落と集落、集落と地方都市の連携による広域的な村づくり
- ◆ まち・むらをつなぐ結節機能の充実、集落でのしごとづくりなど、まちからむらへの人・モノの流れづくり
- ◆ コンパクトな地方都市の構築に向けた、中心地への生活機能・サービスの集約化
- ◆ ニュータウンの空き住宅の活用で、ゆとりある多世代共住の促進、就業の場の創出と子育て支援
- ◆ 大都市での空間を生かした、つながりをつくる多様な住まい方、商店街やまちなかのにぎわい再生
- ◆ 防災・医療・産業面など、地域を越えた連携による課題解決



将来像12

世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

兵庫がアジアの人材育成拠点に

- 兵庫発の人材が世界に羽ばたき、国内外の創造的な人材が集まる国際的な知の拠点を形成している

多文化共生の暮らしが実現

- 外国人県民にも暮らしやすい生活環境が整い、地域住民と外国人県民が助け合う社会が実現している

世界と双方向に結びつく兵庫に

- 兵庫の経験と蓄積が国内外の課題解決に生かされ、世界との交流・連携が深化している

アジア、世界のの中核拠点を担う交通・物流網

- 空港・港湾などのネットワークの拡大と利便性の向上が、世界との交流・連携の拡大を支えている

協働シナリオ12 アジア交流圏による世界に開かれた兵庫づくり

- ◆ 国内外の特色ある人材が集まるアジアにおける人材育成の拠点づくり
- ◆ 兵庫ならではの経験と蓄積を生かした双方向型の貢献・交流の拡大
- ◆ 世界に開かれ、住民自身が多文化と共生する暮らしづくり
- ◆ 関西3空港、阪神港などの機能充実により国際競争力の強化



歴史、風土、文化などを共有する広域的な圏域ごとに、地域住民が地域の将来像を描き、その実現に向けて主体的に取り組む指針です。

平成13年のビジョン策定後に生じてきた地域課題や、地域ビジョン委員活動など多彩な地域づくり活動の広がりといった成果を踏まえ、地域夢会議などで県民が議論を重ねながら、地域像や取組方向の見直しを行いました。

●基本姿勢

人の輪と地域の輪がつながる元気な中播磨 をつくろう
～つなぐ つながる 銀の馬車道～

●地域の夢

- “希望が育つ中播磨” 子どもが元気に育つ、つながりのある地域
- “安全安心中播磨” みんなが安心して暮らせる地域
- “自然豊かな中播磨” 自然環境の営みを大切にする地域
- “元気交流中播磨” にぎわいと交流の元気な地域

●基本姿勢

光と水と緑でつなぐ**元気・西播磨**

●地域の夢

- “人の輪社会” ふれあいを大切に、豊かな人間関係をつくろう
- “安全安心社会” 住みなれた地域で支え合って生きよう
- “環境王国” 人と自然が共生する美しい西播磨をめざそう
- “きらきら西播磨” にぎわいと交流の元気な地域をつくろう

●理念

水辺・ものづくりのまち で生きる

●将来像

- 安らぎとぬくもりを感じられる“心地いいまち”
- 自分らしさと生きがいを感じられる“楽しいまち”
- 自然と文化の豊かさを感じられる“美しいまち”
- 誇りと可能性を感じられる“力強いまち”

●理念

命をつなぐ“**持続可能な島**”
「経済」「社会」「環境」の調和がとれた新たな“**幸せ社会**”
環境立島“**公園島淡路**”の理念の継承と発展

●目標

環境立島あわじ
～人と自然の豊かな関係をきざく“公園島”へ～

但馬

西播磨 中播磨

東播磨

淡路

●めざすべき方向

あしたのふるさと但馬 ～コウノトリ翔る郷～

●将来像

自立の郷／賑わいの郷／癒しの郷／慈しみの郷

●行動目標

人づくり“但馬の人・暮らしを育む”／産業づくり“但馬の産業・しごとを革新する”
誇りづくり“但馬の魅力・誇りを伸ばす”／安心づくり“但馬の安全・安心を守る”

●理念

たんばを楽しむ連携・交流 **みんなで丹波の森**

●将来像

みんなで創る“自立のたんば”／都会に近い田舎を楽しむ“交流のたんば”
やりがいを実感できる“元気なたんば”／多世代が支え合う“絆のたんば”
ともに暮らす“安全安心なたんば”

●将来像

ひょうごのハートランド

●地域像

“交流が広がる”「まちむら交流」で活力を育む
“生活(くらし)の絆が深まる”絆の力で安全・安心を支える
“文化が花開く”芸術・文化を暮らしに活かす
“恵み豊かな環境が持続する”自然・生態系の調和した暮らしが持続
“元気な産業が興る”だれもが生きがいを持って働ける

●理念

市民が主役となり、行政がそれを支える
阪神市民文化社会の創造

●将来像

多様で個性的なライフスタイルを育む社会
自律と協働による温かいコミュニティ
自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境
豊かさとにぎわいを創出する新たな阪神経済

●将来像

人々が集い、喜びと感動が共有できる **「楽しいまち・神戸」**

●めざす都市像

誰もが主役になれるまち“市民自立都市・神戸”

世界に挑戦できるまち“フロンティア都市・神戸”

感動を分かち合い、癒されるまち“コミュニケーション都市・神戸”

地域のシンボリックなプロジェクト・取組

神戸



■楽しいまち・神戸

・神戸の魅力（異国情緒あふれる豊富な文化的蓄積、瀬戸内海や六甲山麓の豊かな自然等）を活かした多彩な交流活動の展開（神戸ゆめまつりの実施など）

阪神



■阪神なぎさ回廊プロジェクト（阪神南）
・自然と都市の再生を図る環境先進都市づくり

■地域見本市（阪神北）

・地域の魅力再発見と地域活動の担い手の発掘



東播磨



■豊かな水辺を守り、生かす東播磨づくり
・水辺地域のつながりを生かし、魅力ある地域づくりをめざす
■人・もの・情報が交流し、にぎわう東播磨づくり
・新たな知恵と活力を生み出し、にぎわいのある地域づくりをめざす

北播磨



■交流と絆づくり

・大都市との近郊性を活かした「まちむら交流」と家族・地域・生活（くらし）の絆の深化

中播磨



■「銀の馬車道」を活かした地域づくり
・人の輪と地域の輪がつながる元気な中播磨をつくる ～つなぐ つながる 銀の馬車道～

西播磨



■つながるひろがる「出る杭」西播磨元気プロジェクト
・交流と魅力発信で元気な西播磨をつくる

但馬



■～出会い・感動～ 夢但馬2014

（但馬・理想の都の祭典20周年事業）

■但馬地域力強化大作戦

■但馬夢シナリオプロジェクト

丹波



■たんばを楽しむ連携・交流プロジェクト

・魅力ある田舎暮らしの情報発信・支援
・京都丹波との連携「大丹波」の魅力アピール
・地域資源を活かした交流で「丹波ファン」の増加促進

淡路



■あわじ環境未来島構想

・環境立島「公園島淡路」の理念の継承と発展

全県・地域ビジョンを実現するための各主体の主な役割

地域づくりのさまざまな主体が、課題に応じた協働のあり方を模索しながら、共に取り組んでいくことが重要です。

県民	家族の絆づくり、多様な働き方の実践、さまざまな創造的活動を通じて、自分らしいライフスタイルを確立するとともに、多彩な人との交流や地域づくり活動への参画により新しい公の担い手となることを期待されます。
地域ビジョン委員	地域の個性に応じたプロジェクトの推進や、誰もが参加する地域夢会議の開催を通じて、幅広い県民にビジョンの理念を普及し、地域の取組につなげるなどビジョンと県民をつなぐ結節機能を果たすことが期待されます。
地域団体、NPO	地域課題の解決に向けた先導的な提言や地域づくり活動への参画、地域に密着したきめ細かなサービスの提供を行うとともに、地域のさまざまな主体間の連携を図ることが期待されます。
教育・研究機関	さまざまな世代に向けた特色ある教育プログラムや機会の提供を行うとともに、地域づくりへの提言・参画や、産学公民連携、海外研究機関との交流を積極的に進める中核となることが求められます。
企業、事業者	積極的な経済活動の展開により、優れた製品やサービスと多様な働く場の提供、人材育成を通じて豊かな生活を創造するとともに、企業市民として環境や文化活動など地域社会に貢献する主体となることが求められます。
行政	県民生活に欠かせない医療、福祉、経済、教育、交流などの基盤づくりを行うとともに、地域づくりの主役が県民であることを基本にさまざまな主体間のコーディネート機能を発揮することが求められます。

ビジョンの見直しにおいては、全県・地域とも、時代潮流の把握や地域課題の掘り起こしを県民の生活や地域団体の活動に即して丹念に行うとともに、様々な機会を通じて聞き取った多くの県民の願い、夢を集約し、将来像とその実現に向けた取組方向としてとりまとめました。

全県ビジョン

■時代潮流を考える調査研究

- ・長期ビジョン推進委員会の開催（平成19年4月～平成22年3月）
- ・学識者による時代潮流研究会の開催（平成19年4月～）

■地域づくりに関わる三百人ヒアリングの実施

- ・NPOや地域団体、企業などの活動の現場を訪問し、兵庫の未来を先取りする動きをつかみ、地域の課題群を掘り起こす、地域づくりに関わる三百人ヒアリングの実施（平成19～22年度）

■フォーラムなどの開催による幅広い県民意見の集約

- ・兵庫みらいフォーラムの開催など幅広い県民意見の集約（平成21～23年度、延850人参加）
- ・県民局圏域の地域団体、実践活動家、NPO、市町などの参加による地域での出前ミニフォーラムの開催（平成22年度）

■さまざまな機会を通じた若い世代からの夢提案募集（平成22年度）

- ・青年会議所と連携した子ども県議会参加中学生へのアンケート、県内高校生（約1千人）からの提案募集、「大学コンソーシアムひょうご神戸」と連携した大学生からの提案募集、青年会議所会員へのアンケート

■長期ビジョン審議会での調査・審議（平成22年7月～23年10月）

■パブリックコメントの実施（平成23年7～8月）

■長期ビジョン審議会から知事に答申を提出（平成23年11月14日）

■県議会での審議（平成23年第311回定例会）・議決（平成23年12月14日）



ヒアリングの様子



高校生による夢提案



大学生による夢提案



長期ビジョン審議会からの答申（手交式）

地域ビジョン

■各地域ビジョン委員会での検討（平成21年4月～23年12月）

■地域夢会議などの開催

- ・地域ビジョン委員、同委員OB、地域の活動団体などを巻き込んだ幅広い主体の参画により、地域像や取組方向の議論を深め、地域ビジョンの見直しに反映するため、「地域夢会議」を開催
 - （21年度）各地域1回開催 延1,571人参加
 - （22年度）各地域2回開催 延2,056人参加
 - （23年度）各地域1回開催 延880人参加

■各県民局圏域の地域団体や市町との意見交換の実施（平成21～23年度）

■パブリックコメントの実施（平成23年7～8月）



地域夢会議



グループ討議の様子



21世紀兵庫長期ビジョン

2040年への協働戦略

策定 2011年（平成23年）12月

兵庫県企画県民部ビジョン課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

電話：078-341-7711（代）

FAX：078-362-3950

E-mail：vision@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ：http://web.pref.hyogo.jp/kk07/index_vision2040.html